

## 校長講話(防災・減災について)

- ・ 今日1月17日は、皆さんもご存じの通り 28年前(1995年)に兵庫県南部を中心発生した『阪神・淡路大震災』が発生した日です。
- ・ 昨日からニュース等でも多く取り上げられているので、阪神高速道路が倒れ、多くの家屋が倒壊し火災が発生した映像を見た人も多いと思います。
- ・ この震災では、約6,400人以上の方が犠牲となりました。5時46分という早朝の時間帯であったため、まだ寝ている人も多かったようで、家具の下敷きになって亡くなられた方も多くいたようです。
- ・ 皆さんも社会科の歴史などで習って知っている人もいますが、ちょうど100年前(1923年)の9月1日11時58分に『関東大震災』が発生し、死者・行方不明者は推定10万5,000人とされています。
- ・ 近年、12年前(2011年3月11日)に『東日本大震災』が発生し、約2万2,000人の方々が犠牲となりました。
- ・ この100年の間で、死者・行方不明者が1,000人を超える大地震は、日本で10回発生していますが、多くは1900年代前半であることから、戦前・戦後の混乱の中、建物の強度も弱く、防災の知識なども十分に周知できていなかったことが原因と思われます。
- ・ しかし、日本も豊かになり、建物の耐震基準も厳しくなった中で、6,400人を超える・2万2,000人を超える信じられないほどの大地震が発生したこと、そして、いつ『南海トラフ巨大地震』が発生してもおかしくないことをよく理解しておく必要があります。
- ・ 皆さんが生きている間に大地震が発生する可能性は非常に高く、確率も上がっています。被害は出ると思いますが、被害を最小限に減らすことはできるはず(減災)です。
- ・ このような機会に、防災の知識を身に付けていくことと、家族でも十分に話し合っておくことはとても大切なことだと思っています。